

こうち 子ども未来フォーラム

2024

勇気の一步を踏み出そう

実施報告書



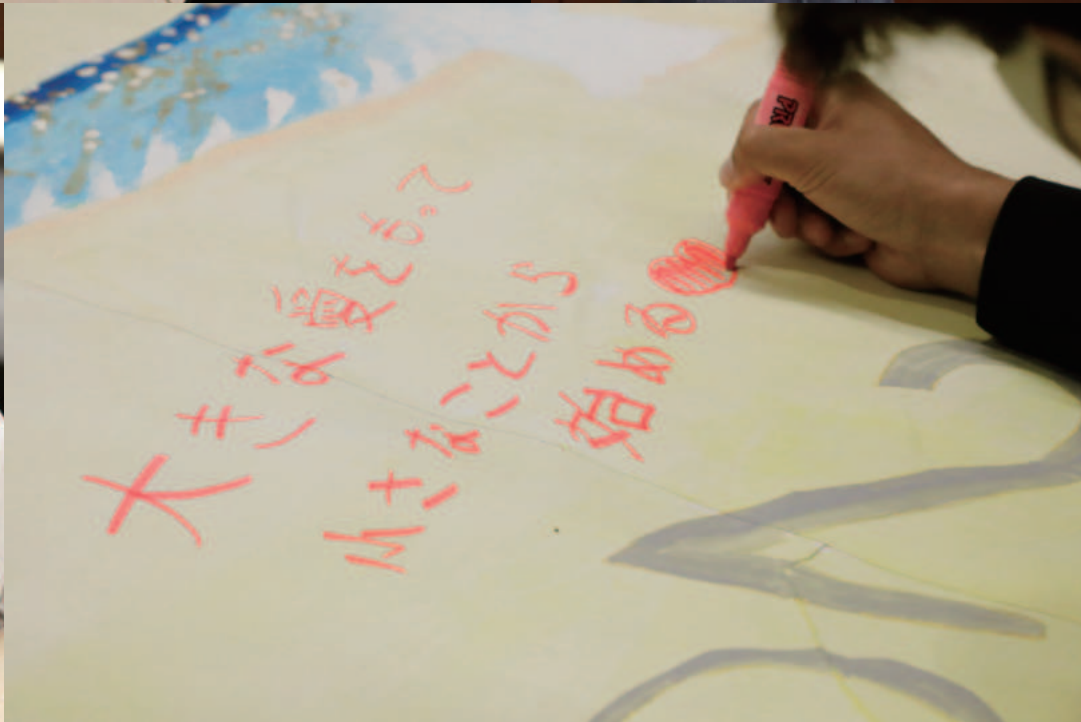
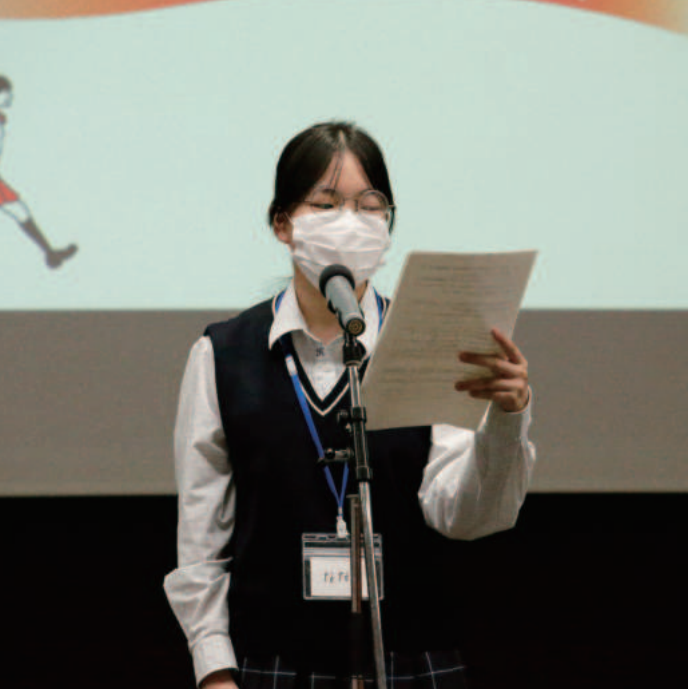
ディスカッションテーマ

将来の夢・未来の私

10代でしたいこと・
経験したいこと

新しいことに挑戦する勇気とは
～勇気ってなに～

本来の自分と
みられている自分



高知県子ども条例の概要



基

子どもは、次代の社会をになう大切な存在。
年齢や成熟度に応じ、成長できること。

本

子どもが、家庭や学校、地域社会の活動を通じ、
人間性や社会性を育むことができる環境をつくること。

理

子どもが、成長とともに高い規範意識や自尊心、
他者を思いやる心を身に付けることができる環境をつくること。

念

保護者や学校関係者等、地域社会や行政が子どものために
連携すること。

保護者の責務

家庭は子どもの育つ基盤であり、保護者は
子育てについて重要な役割を持ち、子ども
を大切に育てる責務があります。
また、子どもが高い規範意識を身に付け、
自ら力を発揮して成長することができる
よう、深い愛情を持って育てなければな
りません。

学校関係者等の責務

学校関係者等は、子どもの安全を確保する
必要があります。
また、子どもが安心して、学びながら成長す
ることができる教育環境づくりに努めなけ
ればなりません。

連携

県民の責務

県民は、大人の意識や行動が子どもに与え
る影響の大きさを自覚し、自らの規範意識
を高める必要があります。
また、子どもが健やかに成長することがで
きる社会環境づくりに努めなければなりま
せん。

行政の責務

県や市町村は互いに連携し、子どもが健や
かに成長することができる環境づくりに関
する施策を策定し、実施する責務があります。
また、地域の住民が協力して行う取組を
支援しなければなりません。

※この条例において、「子ども」とは、18歳未満の者をいいます。

目次

概 要	03
-----------	----

講 演	04
-----------	----

講演テーマ/勇気の一步

講師/暁プロジェクト代表 大久保 暁 氏

交流会	06
-----------	----

～あなたの好きな言葉～

グループディスカッション	08
--------------------	----

■GroupA / 将来の夢・未来の私

■GroupB / 10代でしたいこと・経験したいこと

■GroupC / 新しいことに挑戦する勇気～勇気ってなに～

■GroupD / 本来の自分とみられている自分

アンケート	20
-------------	----



こうち 子ども未来フォーラム

勇気の一步を踏み出そう



令和6年8月25日(日) 13:00~17:00

場
所

ちより街テラス 3Fちよテラホール

タイムスケジュール

13:00	オープニング
13:10	講演 大久保 暁 氏 テーマ: 勇気の一步
14:00	交流会~あなたの好きな言葉~
15:00	グループディスカッション ■将来の夢・未来の私 ■10代でしたいこと・経験したいこと ■新しいことに挑戦する勇気 ~勇気ってなに~ ■本来の自分とみられている自分
16:30	プレゼンテーション
17:00	終了





講演テーマ

勇気の一步

講師

暁プロジェクト代表

大久保 暁 氏

profile

誰もが「自分らしく生きていい」と思える社会の実現を目指し、年齢問わず全国各地で伝える活動をしている。現在は学校現場を中心に、行政や企業など対象者に合わせた内容の講演を行っている。

講演テーマ【勇気の一步】として、大久保さんが自身のLGBTQに関する体験談をお話してくださいました。その話は、多くの人にとって新しい視点を提供し、深い考えを促すものでした。

大久保さんは、大久保家の長女として生まれましたが、幼少期から男物の服を好み、周囲から「ボーイッシュ」と言われることが多かったそうです。自分自身ではただ好きな服を着ているだけでしたが、社会はそう簡単には受け入れてくれませんでした。女子トイレに入るとしばしば男の子に間違われ、冷ややかな視線を感じることも日常茶飯事でした。こうした日々の中で、大久保さんは次第に「自分らしく生きることが難しい」と感じるようになり、社会的な生きづらさを深く感じていました。

そうしたなか、中学・高校は、当時バスケットボールの強豪校だった土佐女子中学・高等学校で、その実力を遺憾なく発揮しました。そして、大学は大阪体育大学に進み、4年間バスケットボールに打ち込みました。その後、体育教員の免許を取得し、高知県で9年間、体育教諭として勤務しました。性別は女性として教壇に立っていましたが、ボーイッシュな外見のため、知らない人からは「男性の先生」として誤解されることが度々ありました。

この時期、大久保さんは自分自身と社会との間に深い葛藤を抱えるようになります。周囲の期待や固定観念に縛られることなく、自分らしく生きたいという強い願望が次第に大きくなっていきました。そして、「一度きりの人生を、自分らしく生きよう」との決意を固め、31歳のときに性別を女性から男性に変更する決断を下しました。この重要な決断を機に、教員を辞め、大阪へと移住しました。

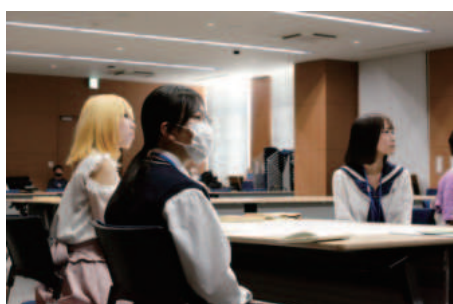
現在、大久保さんは結婚し、子供もいます。日本では同性婚が法的に認められていないため、戸籍上も女性から男性に変更し、法的に結婚も成立しています。大久保さんは、自分自身の体験を通じて、法的な壁や社会的な偏見に挑戦し続ける日々を語りました。

講演のなかで、大久保さんは次の問いを参加者に投げかけました。

「自分が思っている性別はなんですか？ そして、なぜその性別だと思うのでしょうか？」

この問いに答えられない人もいると、大久保さんは続けました。性別に関する答えが自然と出ることは当たり前ではなく、世の中には様々な形の「自分」が存在しています。自分らしさを見つけることができない人や、見つけたとしても社会からの理解を得られない人もいるのです。大久保さんは、会場の参加者に向けて、【幸せの形は人それぞれ】であることを強調しました。誰もが自分自身にとっての幸せを見つけ、それを追求する権利があります。その権利を他者が批判したり、馬鹿にしたりするのではなく、まずは自分がどう感じるか、自分自身にしっかりと向き合いながら、他者の幸せを尊重していくべきだと強く語りました。そして、自分に軸を置き、前を向いて生きることの大切さを訴え、講演は感動的に締めくくられました。



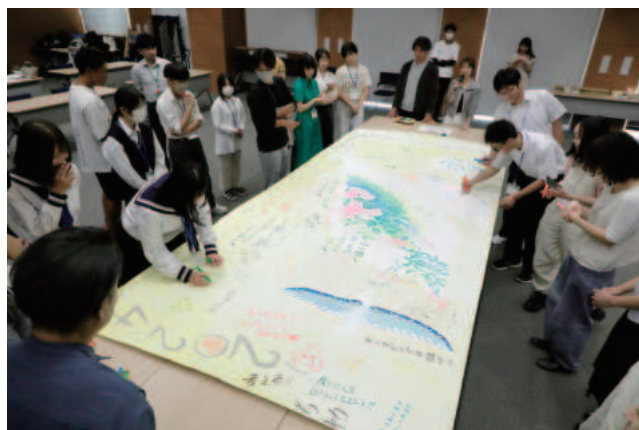


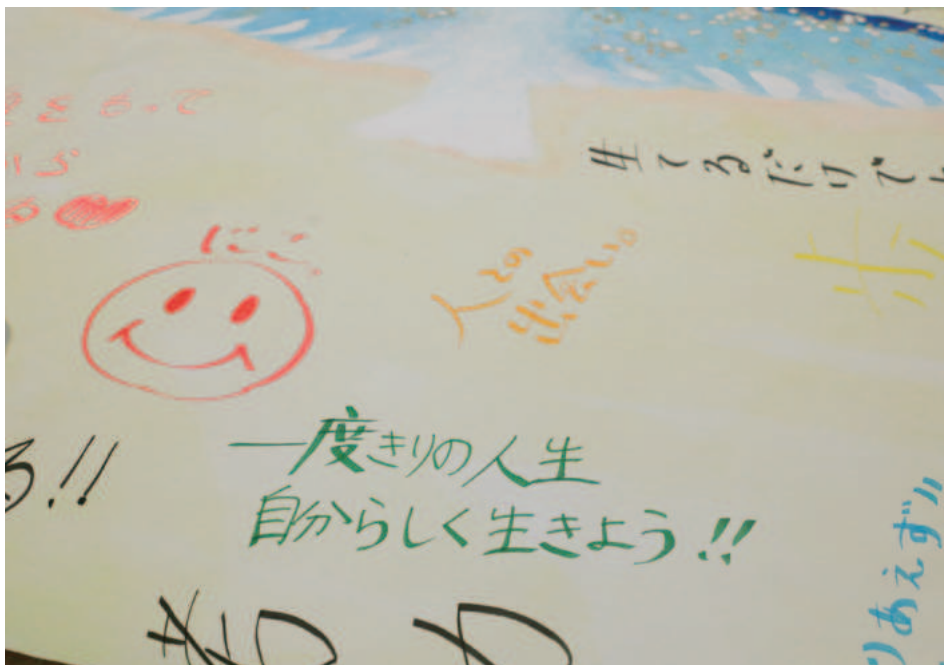
交流会 ～あなたの好きな言葉～

高知市在住の絵本作家、松井香保里先生が縦2メートル、横5メートルの作品を描いてくださいました。その作品に、参加者や講師らが、思い思いに、好きな言葉、今感じていること等、自由に言葉を書き加えました。

松井先生からのメッセージ

「勇気をもって1歩踏み出すのは簡単なことではないけれど、失敗を恐れたままでも良いので、羽のように軽い心で歩いていけると信じて頑張してほしい！」





Group
A

将来の夢・未来の私

フリーアナウンサー
尾崎 美樹 氏

親から期待される道、つまり「親のレール」で生きることに対して、大きなジレンマや窮屈さを感じていました。私もその中で、自分らしさを見失いかけていた時期があります。

4年生大学に通いながらアルバイトをし、並行して劇団での活動も続けていました。しかし、そこで現実に直面します。劇団での活動だけでは生活ができないことが分かり、自分の進むべき道に迷いが生じました。

そんな中、知り合いから「声を使う仕事、マイクを使う仕事が向いているんじゃない?」と勧められたことがきっかけとなり、アナウンス学校に通う決心をしました。就職活動の際にも、母親からは「公務員になりなさい」と当時も言われ続けていました。しかし、私はどうしてもアナウンサーになりたかったのです。自分の夢を諦めることなく、アナウンサーへの道を選びました。

「どうやって夢を叶えるのか?」と自分に問い続ける中で、本当に好きなことを見つけ、それに夢中で学び続けることが大切だと気づきました。夢中になれることがあれば、学ぶことが苦ではなくなります。そして、好きなことをとことん極めていけば、結果としてお金を得る手段にもなっていくます。

他人の価値観に従う「他人軸」から、自分自身の心に従う「自分軸」へのシフトには、大きな勇氣が必要です。なぜなら、「自分軸」とは、自分が何をしたいか、何をしたくないかをはっきりと心に問い、他者の期待を振り切る決意を持つことだからです。それは、社会的な常識や周囲の期待に逆らう瞬間があり、とても勇氣がいることです。それでも、自分の声に従い、生きていくことこそが本当の意味での「自分らしい人生」なのだと強く感じています。



Group
A

将来の夢・未来の私



私たちは【将来の夢・未来の私】というテーマで話し合いました。

さまざまな意見を出し合っていたなかで、「好きなことをやる」というキーワードが出ました。自分の興味や情熱を大切に、それを追求することで、より充実した人生を送ることができると思っています。好きなことを仕事にすることは、時には大変かもしれませんが、しかし、「好きなこと」を仕事にするというその過程が、自分を成長させ、幸せな時間にもなります。

次に重要なのが「自分軸」です。周囲の意見や期待に流されず、自分自身の価値観や目標をしっかりと持つことが大切です。特に、他人と比較することが多い現代において、自分の進むべき道を見失わないようにすることが必要です。自分が本当に望むものは何か、自分にとっての幸せとは何かを考え、自己分析を行うことが、自分軸を築く第一歩だと感じます。

さらに、「とことんやる」という姿勢も忘れてはいけません。何かを始めるとき、全力で取り組むことで、より深い理解やスキルを身につけることができます。たとえ途中で壁にぶつかっても、その経験は将来の自分にとって貴重な財産になります。失敗を恐れず、挑戦し続けることで、自信を持ち続けられるのです。自分の好きなことをとことん追求することで、自然と専門性が生まれ、他者との違いを際立たせることができるでしょう。

また、「自分との対話」も大切な要素です。忙しい日常の中で、自分の心の声を聞く時間を持つことは、自己理解を深めるために欠かせません。日記を書くことや、瞑想を通じて自分の内面と向き合うことで、迷いや不安を軽減し、自分が本当に求める方向性を見つけることができます。自分との対話を重ねることで、将来の夢がより明確になり、目指すべき道筋が見えてくるのです。

将来の夢を実現するためには、これらの要素を組み合わせることが重要です。好きなことをやり、自分軸を持ち、とことんやり続けることで、自分の未来がより豊かに広がると確信しています。夢を持つことは素晴らしいことですが、その夢を実現するための具体的な行動を起こすことが肝心です。自分が心から望む未来を思い描き、その実現に向けて一步一步進んでいくことが、私にとっての将来の夢であり、未来の私を形成する大切な要素だと感じています。

夢を追いかける道のりは、決して平坦ではありませんが、好きなことを大切に、自分自身を理解することで、理想の未来に近づいていける。自分の成長を実感し、未来の自分に自信を持てるように日々努力していきたいと思っています。



Group
B

10代でしたいこと・経験したいこと

高知大生

玉井 綜真 氏



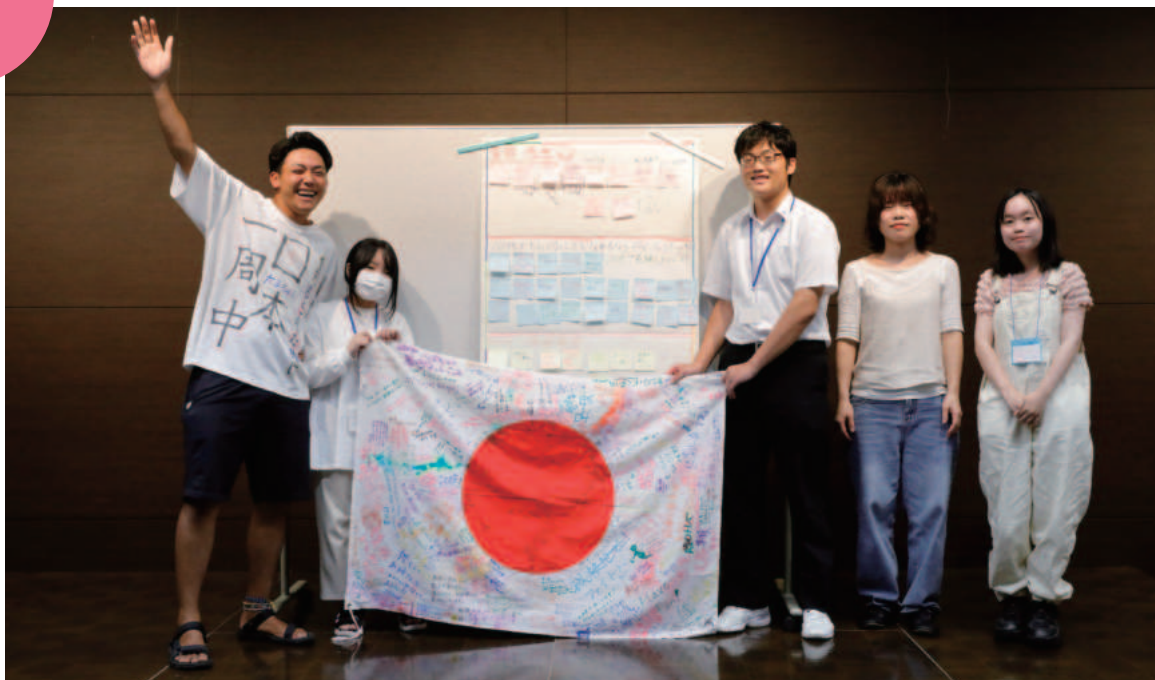
現在、ヒッチハイクで日本一周しています。
なぜヒッチハイクという挑戦を続けているかと言うと、小学校から大学1年生の終わりまでは、算数が大好きで算数の先生になりたかったのですが、大学で新しい環境と友達ができる楽しさを実感し、友達をもっと作りたい、さまざまな県や国を訪れたいという気持ちが沸いたからです。このため、思いを行動に移そうと、数学の教師を目指す道から方向転換しました。そうしたなかで、海外に行きたいという思いが芽生えてきました。しかし、英語が話せなかったため、なんとか身につけようと、中学1年生の英語テキストから勉強をし直しました。努力の結果、大学3年生で初めて海外に行き、今では何十カ国も訪れています。
海外でのさまざまな経験から、今ではお金や家庭環境に縛られずに挑戦できる場所を海外に作りたいて考えるようになりました。
しかし、そのためには自分がもっと成長する必要があると感じ、大学生のうちに世界を見てようと決意しました。自分の知らない世界に一步踏み出すことで、さらに広がる世界とワクワク感を感じることができると思います。
まずは第一歩を踏み出すことが大切だと考えています。自分の限界を超えることで、より多くの経験と学びを得られると信じています。

世界を旅し、多くの人々と触れ合うことで、自分自身の成長と新たな可能性を見つけることができるでしょう。また、多様な文化や価値観に触れることで、視野が広がり、人生に対する理解が深まると確信しています。



Group
B

10代でしたいこと・経験したいこと



私たちは【10代でしたいこと・経験したいこと】というテーマで話し合いました。

意見を出し合って印象に残ったキーワードは「やる気の出し方」です。

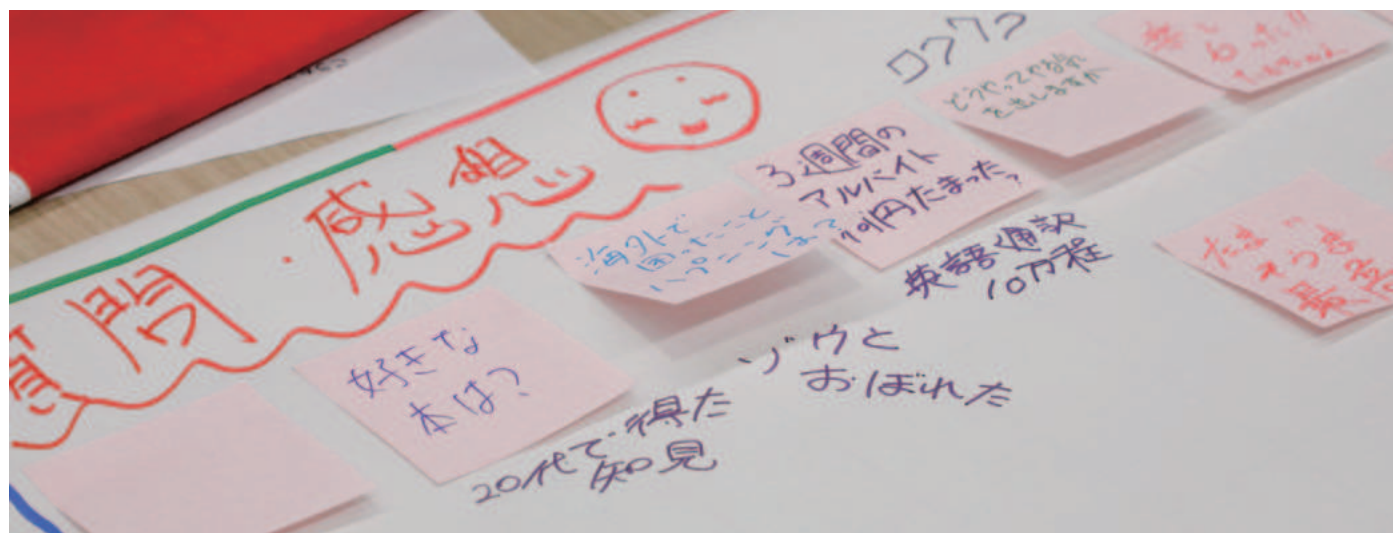
やる気と言っても、いつも意欲的に行動できるわけではありません。やる気があふれるような毎日にするには、なかなか難しいと思います。その中で1番大事なのは、自分がとにかくワクワクする事を追求することが大切だという考えに至りました。ただ、追求することによってゴールラインを設定するのではなく、常に目標を高めていくその姿勢が大切です。色々な経験をし、自分の小ささや、世の中にはさまざまな能力や才能あふれるたくさんの方がいるのだという視野の広さを持つべきだと感じました。

日本中、世界中に色々な人がいるのでまず「知っていく」ことの重要性を感じました。

自分たちのやりたい事、やりたかった事を実践するためには、まずは好きな事の模索から始めてみるのが良いと思いました。つまり、とりあえず一歩を踏み出す事がとても大事な事だと思いました。そして、失敗を恐れずに挑戦することで、自分の成長が促されると気づきました。

失敗も学びの一部であり、そこから得るものが大きいのだと感じます。





Group
C

新しいことに挑戦する勇気～勇気ってなに～



私は高知県で活動するYouTuberで、普段は高知県の魅力を発信しています。高知の楽しい場所や文化をドラマチックに紹介することが多いです。私にとっては、YouTube活動そのものが、「挑戦する勇気」の象徴でもあります。

実は、僕自身、以前はやりたいことが明確に見つからない大学生でした。ただ漠然と大学に通い、周囲と同じように毎日を過ごしていました。そのような中、偶然にもYouTubeを始めてみたところ、自分に意外と合っていて、何よりも楽しいと感ずることができました。自分の言葉や映像を通して人々に何かを伝えることに喜びを見出したのです。

しかし、大学生活が終盤になってくると、今後の人生をどうするのか、社会とどう関わっていくのか、大きな転換点となる就職活動が始まりました。ここで、私は大きな選択を迫られることになります。就職して安定した道を進むのか、それともYouTuberとしての道を追うのか。正直、悩みました。社会の期待や周囲の目、経済的な不安などが頭をよぎり、自分に自信を持てない時期もありました。

けれど、僕は勇気を振り絞ってYouTuberの道を選ぶことにしました。決して簡単な決断ではありませんでしたが、今振り返ってみると、この選択をして本当に良かったと思っています。

自分のやりたいことを貫き、好きなことに全力で取り組むことが、自分自身にとって何よりの成長と幸福につながることを実感しました。

ここで、皆さんにもお伝えしたいのは、少しでも好きなことや興味のあることがあるならば、恐れずに一度挑戦してみてほしいということです。失敗を恐れる気持ちは誰にでもあります。失敗を恐れて行動しないことこそ、最も大きな後悔につながると感じています。たとえうまくいかなかったとしても、その挑戦自体が自分にとって大切な経験となり、次のステップへとつながっていくのです。

失敗は決して悪いことではなく、むしろそれによって学び、成長することができます。僕自身も、YouTube活動を通して何度も失敗や挫折を経験しましたが、それがあったからこそ、今の自分がいるのだと思っています。挑戦する勇気がなければ、現在の私の姿はなかったでしょう。

ですので、何かに少しでも興味や情熱を感じるなら、ぜひその気持ちを大切に、一歩を踏み出してみてください。その一歩が、きっと未来の自分を変える大きな力になるはずです。

Group
C

新しいことに挑戦する勇気～勇気ってなに～



私たちは【新しいことに挑戦する】勇気について、そして「勇気とは何か」について話し合いました。このテーマを通じて、勇気を出すために必要な要素や、逆にそれを妨げる要因について考えました。私が最も重要だと感じたのは、自分に対する自信です。自信があることで、新しい挑戦に向かうエネルギーや勇気が自然と湧いてきます。自信は、自己肯定感や成功体験から生まれるものだけでなく、自分を信じ続ける姿勢からも得られると感じました。

その中で特に印象的だったのは、言葉の力についての意見でした。言葉、特に「言葉」は、私たちの心に大きな影響を与える存在だという考えが深く共感できました。ポジティブな言葉を自分に投げかけたり、他者からの励ましの言葉を受け取ることによって、心が強くなり、勇気が湧き上がってくることがあります。言葉は目に見えないものですが、その影響力はとても大きいと感じます。

また、他者からのアドバイスや、楽観的な考え方も勇気を出すための重要な要素だと思いました。楽観的な思考は、どんなに難しい状況でも「なんとかなる」と前向きに捉えることができるため、行動に移しやすくなります。新しいことに挑戦する際、失敗を恐れず、まずは一步を踏み出すための原動力となるでしょう。

一方で、勇気を妨げる要因についても考えました。最も大きな妨げとなるのは、客観的すぎる視点や他人の目を気にしすぎることです。自分の行動が他者にどう映るか、他人からどのように評価されるかを考えすぎると、自然と躊躇してしまうことがあります。「もし失敗したらどう思われるだろう」「これを言ってしまうと嫌われるかもしれない」といった考えが、行動を抑制し、挑戦をためらわせる原因になります。

それでも、新しいことに挑戦する勇気を持つためには、まず「行動すること」が最も大切だと感じました。行動することでしか、経験や成長を得ることはできません。新しい出会いや未知の経験を求め、積極的に一步を踏み出すことで、挑戦や勇気が育まれていきます。また、行動することで、自己の限界を知るだけでなく、その限界を乗り越えるチャンスを得ることができます。

さらに、困難な状況に直面したときに「相談する勇気」も重要な要素だと気づきました。自分一人で問題を抱え込み、自己解決を目指すことも必要な場合がありますが、時には誰かに相談することで視野が広がり、問題解決の糸口が見つかることがあります。相談することは弱さではなく、むしろ成長のための一步だと感じました。



Group
D

本来の自分とみられている自分

暁プロジェクト代表

大久保 暁 氏



私は昔、スポーツが得意でしたが、その一方、勉強はまったくできない学生でした。先生からは「オリンピック選手になるんじゃないか」と言われるほど、足が速かったです。外から見ると私は、元気でスポーツができる快活な子供に見えたかもしれません。しかし、内心は、誰にも言えない大きな葛藤を抱えていました。それは、幼い頃から感じていた性別に対する違和感でした。この答えが出せない感情と、日々一人で戦っていたのです。周囲には明るく見えても、実際の私はずっと悩みを抱えたまま成長していました。

活発だった小中学生時代、周囲からは悩みのない「元気な子」と思われていたかもしれません。でも、内心ではそのイメージと実際の自分の間で苦しんでいました。高校時代に好きな女の子ができたとき、自分の気持ちを伝えることができませんでした。なぜなら、自分自身がその感情を認められず、相手にも伝えられなかったからです。ある日、その女の子と大きなケンカをしてしまい、その結果、学校に行くこともできなくなりました。この出来事は、私にとって非常に辛いものでした。

当時、バスケットボール部に所属していて、バスケットをすることでなんとか精神的に救われていましたが、それでも心の中はいつもネガティブな感情で満たされていました。たとえば、「女子トイレを使っても大丈夫だろうか」「女子更衣室に入っているのだろうか」といった疑問や不安が、日常の一部になっていました。

この不安は今でも完全には拭えず、人からの批判に対して非常に敏感で、特にインターネット上のコメントを見ることがとても苦手です。自分がどう見られるかを気にしてしまい、ネガティブな思考が染みついてしまっているのです。

しかし、今は本来の自分で生きることができるようになりました。自分の気持ちやアイデンティティを受け入れ、家族もできて、幸せを追求できるようになったのです。以前は、自分の幸せすら考えられなかった時期がありましたが、今は自分を肯定できています。

ここで皆さんに伝えたいことがあります。人と違うことをネガティブに捉えることもあれば、ポジティブに捉えることもあるでしょう。しかし、人と違うことは決して悪いことではありません。大切なのは、他人がどう自分を見ているかではなく、自分自身がどう生きていきたいかを見極めることです。

人生は一度きりです。やり直しはきかないので、やりたいことがあるならば、恐れずに挑戦していくことが大切だと思います。最後にお伝えしたいのは、「やらずに後悔するより、やって後悔する方がいい」という言葉です。自分らしく、後悔のない人生を送るために、皆さんも一歩を踏み出してみてください。

Group
D

本来の自分とみられている自分



私たちは【本来の自分とみられている自分】というテーマで話し合いました。自分らしく生きるためにはどうしたら良いのか、さまざまな意見が出ました。その中で、自分のことを大切に、自分が本当にやりたいことを実践することが重要だという結論に至りました。しかし、それを実現するための具体的な方法については抽象的な部分が多く、どのように行動を起こせば良いのか悩むことがありました。

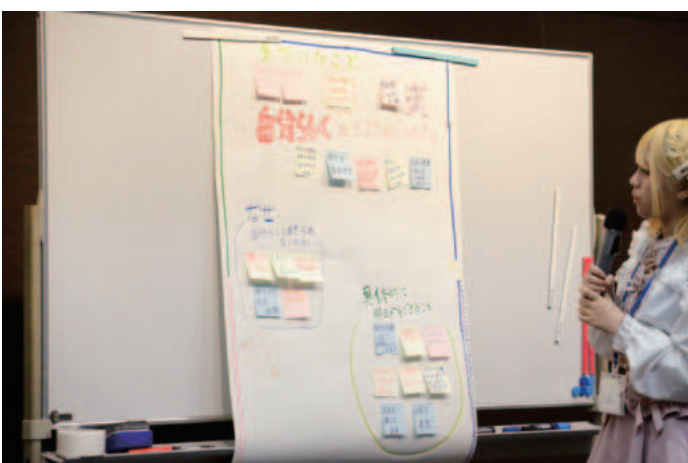
さらに、なぜ自分らしく生きられないのかを考えてみると、周りからの視線や否定的な反応、自分自身の固定概念が影響していることに気づきました。他人の目を気にするあまり、自分の本音や欲求を抑えてしまうことが多いです。このような状況では、自分らしさを失ってしまうのも無理はありません。

自分らしく生きるためには、自分が持っている固定概念や偏見を捨てることがとても重要だと感じました。自分を制限するような思い込みを取り除くことで、もっと自由に行動できます。また、相手を否定せず、自分自身の価値観を大切にすることも大切です。お互いが自分らしく生きることで、より良い関係性が築けるのではないかと思います。しかし、自分らしく生きるということとは簡単なことではなく、日々の生活の中での葛藤や挑戦が伴います。

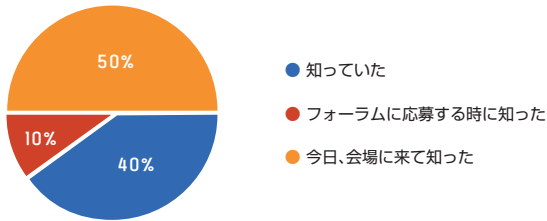
周囲の期待に応えようとするあまり、自分を犠牲にしてしまうことがあるからです。それでも、自分自身を理解し、受け入れることができれば、少しずつ自分らしさを取り戻せるのではないかと考えています。

最終的には、自分の価値観や信念を大切にしながら、周囲と調和を保つことが、自分らしく生きるための鍵になると感じました。自分自身の声に耳を傾け、自己理解を深めていくことが、今後の人生において重要なステップになると確信しています。自分らしさを追求することは難しい道かもしれませんが、その過程で得られる成長や発見は、何物にも代えがたい貴重なものになるでしょう。

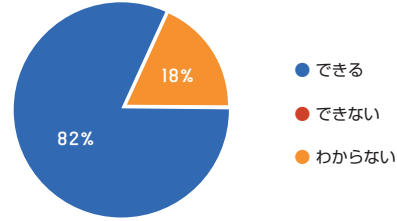
さらに、自分らしく生きるためには、挑戦することも大切です。新しい経験や出会いを通じて、自分の可能性を広げていくことが、より豊かな人生をもたらします。恐れずに新しいことに挑むことで、自分の隠れた才能や興味に気づくことができ、それが自己成長につながるのです。また、自分らしく生きる姿を周囲に示すことで、他の人にも勇気を与え、ポジティブな影響を与えられると思います。自分を大切にしながら、他者とも共鳴し合うことで、より充実した人生を築いていきたいです。



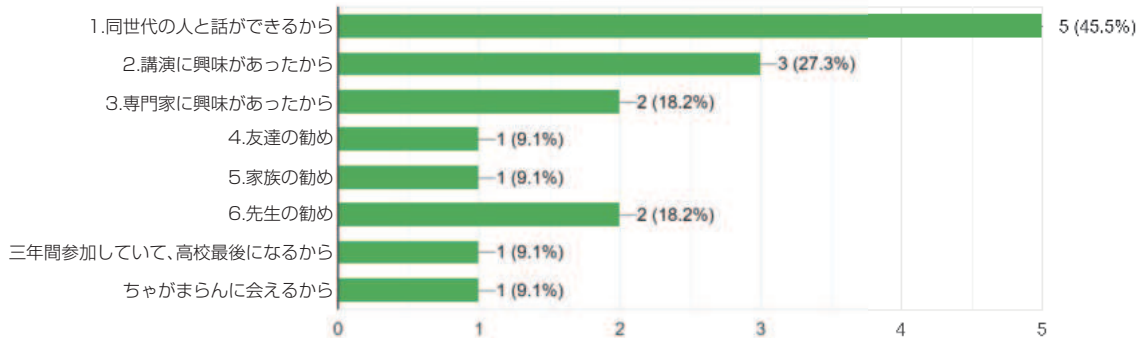
Q1.「高知県子ども条例」を知っていましたか？



Q2.自分は「権利の主体」だと実感できますか？



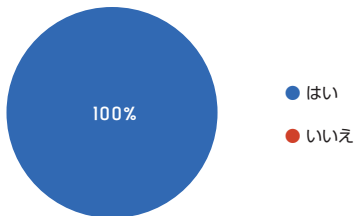
Q3.フォーラムに参加したきっかけを教えてください



Q4.感想をお聞かせください

- 普段考えることがない少し難しい問題も、皆と意見を出し合うことで、少しずつ本質が分かった。
- 講演で知らないことをたくさん知れたし、ディスカッションで自分のことを伝えられたし、相手が大事にしていることや好きなことに影響を受けてすごく楽しかったです。
- 三年間このフォーラムに参加してみて、たくさんの方々で議論することができ、考えが変わり、収かくを得た。
- 楽しかった。過去参加したフォーラムのなかでも一番楽しいものになった。きてよかったです。
- 他の人の価値観を知れたのがおもしろかったです。
- 思っていたより緊張しなくてとても楽しかった。来て良かった！！
- 自分の心の成長になった。
- 初めて学校以外で自分の意見をちゃんと伝えることができました。この経験を通じてもっと自分の意見と他人の意見を比べたり、話し合ったりしたいと思いました。本当に楽しかったです。
- たまちゃん最高！！世界に出た重みある。気軽に話せる雰囲気めっちゃいい！
- とても良い刺激となった。ここに参加して良かったと思うことができた。
- すごく楽しかった。人前で話すことへの抵抗が減った。

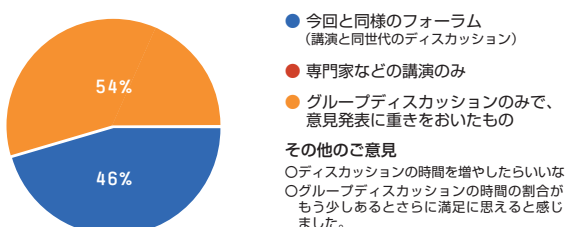
Q5.自分の意見を言えましたか？



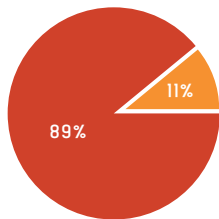
Q6.同世代の人や専門家、ファシリテーターの話を聞いてどう思いましたか？

- 自分の中で思い悩んでいることが実は他の人も同じことで悩んでいたりして、自分一人じゃないんだと思うことができた。
- 改めて人のわくわくしたことや熱意を聞くのは面白かったし、私もワクワクして、そう言うことに没頭した生き方が心からうらやましいと思いました。
- 自分軸と他人軸について理解をし、最終的に決めるのは自分の意思で決めることが大事である。
- 新しい考えを知れた。周りの人に教えたい名言？を知れた。
- 悩んでいるのは一人じゃないので、打ち明ける勇気をもとうと思いました。
- 勇気を出して行動することは大事だということ。
- 自分は思ったより他人軸になっていることが自覚できた。もっと自分と向き合いたいと思った。
- 自分の考えの枠を超えていろんな話が聞けてとても楽しかったです。
- 世界にたくさんの人々がいて、それぞれの考えや思いがある。
- 先輩の意見、自分のもってない考えに触れることができた。
- 色々な人の人生の話がきけたり、考え方を知れたりして視野が広がった。

Q7.今後、どのような催しに参加してみたいですか（子どもの権利について）



Q1.「高知県子ども条例」を知っていましたか？



- 知っていた
- フォーラムに応募する時に知った
- 今日、会場に来て知った



Q2.子どもたちの意見(ディスカッション・発表)を、どのように感じましたか。

- 悩み揺れる時間も愛しいな、と感じました。もっとディスカッションする時間があるといいな。専門家に質問しながら子どもたちが答えを見つけたり自分の可能性を感じて、きゅん×2 しました♡
- 参加しているだけで積極的に行動できていると感じました。多様な中に生き、生きづらさもある若者が多いと思いますが、今回のことで日本の未来は明るい希望が持てます!!
- 自分の高校生の時はここまで自分の意見をしっかり言えなかったので、シンプルに尊敬しました! 勇気もらいました!!
- 皆それぞれ、印象に残った言葉や意見があってよかった。行動を起こす時に邪魔になっていることについても語りあっているグループは、すごいと思った。時間ギリギリになってしまった。
- それぞれ夢があって素敵だった!! とくに、「夢に向けての一步宣言」はこのフォーラムが終わってからも行動につながるコンテンツだったのでめちゃ面白かった!!
- ディスカッションの時間が足りないくらい白熱したので、発表までもう少し時間をとってほしい(1時間がいいと感じました) "明日からできること"という具体的な設問を設定したことで、子どもたちがこのフォーラムで確実に何か学びを得られたと思う。
- 他者から刺激を受けて意見をアップデートしたり、それぞれの経験を肯定的に受け止めたりしている姿が印象的であった。この場に勇気を出して来てくれた高校生から、「来てよかった」の言葉が聞けたのでうれしさを感じた。
- 言葉、書くこと、話すことによって、自分自身が思ってたこと、気づいてたことに発見があった。みんなの意見を感じることができた。みんな温かい、大好き。
- 自分たちから学んでくれている、それを言語化してくれる素晴らしさ、そこからファシリや専門家の私たちが学びを得るという善のサイクルが生まれた会だと感じました。

Q3.本県の子どもたちに、権利の主体であること(大切にされる権利があることや、自分の考えや思いが尊重されること、意見を表明する権利があること等)を伝え、実感してもらうには、どのような方法が有効だと思われますか。

- 夢を叶えてあげる? プレゼンして実際に叶えてる? 思いつかずすみません!
- 様々な人権課題に多くふれ学ぶことが大事だと思います。今回、LGBTQについて知っていただけたこともとてもありがたかったです、「知る」「学ぶ」を続けていって欲しいと思います。
- 今回のような、話したことのない人との交流はいい機会になると思いました! イベント開始前より、みんないい顔してました!
- 一步をふみだしている大人や同年代の人の体験談を聞く。大人側へもこうした会や中高生でチャレンジしている人の体験できていることがあたりまえであることの認知向上。
- 子どもたちの想いや声を大人たちがサポートしながら形にしていく取り組みがあればいいと思います!! とくに、お金のサポートは大きいと思います!!
- 各家庭の親に「高知子ども条例」を知ってもらい、子どもたちに伝えてもらう。イベント等で実際に権利を行使する機会をつくる。
- 自主的に参加する場にて伝えることも大切だと思うが、義務教育機関・学校との協力もしながら、全員に伝える機会を設けることも有効的だった。
- 今回のような会を続けていくこと。規模の大小は関係なく、短いスパンで行うことで身近にしていきたい。
- 学校に公演や今回のようなフォーラムを開催し、権利のことを知ってもらい、興味を持ってもらう。

Q4.今回の事業に参加されて、改善点やお気づきの点がありましたらお聞かせください。

- もっと皆話したいのだろうなと感じました。模造紙はラストに書く、専門家に相談する時間が欲しかったです。
- お声がけいただきありがとうございました。今後もご縁があればと思います!!
- 時間配分をミスった…
- 「絵に好きな言葉をかく」のは最高のアイスブレイクだと感じました!!
- 今回は13人の参加でしたが、最大の40人参加したら、回すのは難しいのかなと感じた。

こうち 子ども未来フォーラム

2024

勇気の一步を踏み出そう

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

ディスカッション参加者

Group
A

将来の夢・未来の私

高知東高等学校 2年 足達 心美
高知商業高等学校 2年 川渕 千夏
高知丸の内高等学校 3年 佐野 伶武

Group
B

10代でしたいこと・ 経験したいこと

土佐塾高等学校 1年 北岡 新柳
高知小津高等学校 3年 太内 秀洋

Group
C

新しいことに挑戦する 勇気～勇気ってなに～

山田高等学校 1年 中屋 咲麗
土佐女子高等学校 2年 中野 莉那
高知小津高等学校 3年 篠原 虎珀

Group
D

本来の自分と みられている自分

高知北高等学校 1年 田内 咲空
土佐女子高等学校 2年 比豫森 凜
春野高等学校 3年 平田 夏奈海

講師

暁プロジェクト代表
大久保 暁 氏

専門家

フリーアナウンサー
尾崎 美樹 氏

高知大学生
玉井 綜真 氏

ちやがまさん
ひとし 氏

暁プロジェクト代表
大久保 暁 氏

ファシリテーター

高知大学 吉葉 日咲

高知大学 浪上 愛梨

高知大学 沼本 佳歩

高知大学 田中 伶奈

高知大学 吉田 啓剛



